

JARD

小笠原DXペディション 体験記

- 1 書上 文彦 (一般団員)
- 2 柳 文枝 (一般団員)
- 3 高野 成幸 (一般団員)
- 4 水田 かおり (一般団員)
- 5 高橋 篤生 (一般団員)
- 6 渡瀬 隆典 (一般団員)



2016年8月23日(火曜日) 午前11時 竹芝棧橋から出港!!。前日までは..台風の接近に伴い前便が欠航になっていたのですが今回も欠航になるのではないかとドキドキ感一杯でした...笑!! しかし団員全員の思いが届いたのか予定通り無事に小笠原諸島・父島へ向け出港しましたあ...☆彡東京から1000キロ・大海原の旅です。



出港間近...
待合室にて記念撮影.....(^.^)
JARDの旗を掲げ団員全員がやる気満々の意気込みが笑顔に表れていますねー...☆彡

さあ...出港の時です!! 小笠原諸島・父島へ行ってきまーす...♪彡



対岸からJARDのスタッフの方々の...「いってらっしゃーい!」、ありがとうございました。

まずは・・・船内にて自己紹介とミーティング・・・☆彡



JARDの菅谷さんのご尽力により新おがさわら丸の船内特別ルームでDXペディション運用に向けてのミーティングが行われました。まだこの時は東京湾なので船の揺れも少なく全員が集まりました・・・笑!! 詳細にわたり打ち合わせを行い全員無事故で楽しく有意義なDXペディションの旅を・・・宣言したのです・・・(^_^)

ここで簡単に皆さんの自己紹介があり・・・名前と顔を一致させます・・・笑!!

HAMtte・・・!!

JARD受講者交流サイト「ハムっての紹介・・・」今回のDXペディションの開催中専用の掲示板も開設されました・・・(^_^)



船内のくつろぎ場所はこんな感じで・・・Good!! 快適に過ごすことが出来ました・・・(^_^)

そして・・・24時間後・・・☆≡



8月24日・11時20分ごろ無事に父島の二見港に到着しましたあ。



JARDの有坂会長と一緒に記念撮影!
40年前の沖ノ鳥島DXペディション団
長です。凄い方です!!



二見港に到着後、お昼のお弁当を食べな
がら・・・楽しい団欒のひと時・・・(^ ^)



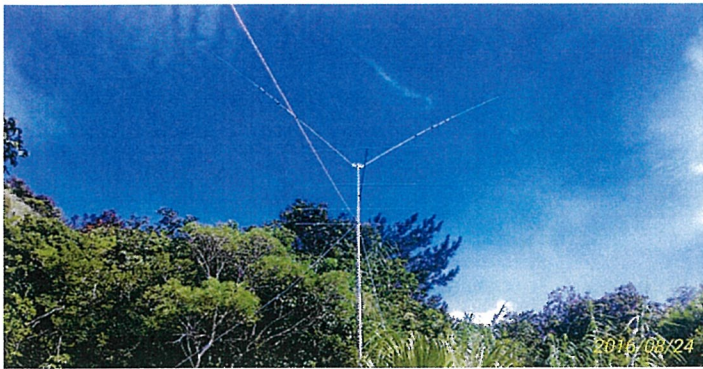
ちょっと観光気分浸ってま
す・・・笑!!



そして、いよいよDXペディション
運用場所の父島コテージで
す。初日の24日はアンテナと
無線機の設置作業と試験電波
等の確認です・・・(^ ^) 明日
の25日から2日間の本格運用
が始まります・・・!!



皆が手分けして..アンテナを組み立てます....(^ ㇿ 汗だくだく...笑!!



有坂会長が自らアナライザーで
チェック....(^ ㇿ
マッチングOK!! Good(^ ㇿ



小笠原諸島・父島コテージ「D
Xペディション」運営地の完成
です...☆彡
ISLAND感た°っぷりー!!

汗だくになりながらのアンテナ設置・・・みんな頑張りました・・・!!



JARLの玉眞専務も大奮闘・・・(^_^♪ 後に・・・ブランコで気分転換!?・・・笑!!



ダイヤモンド 第一電波工業の
小杉さん、JARLの菅谷さん・・・お
疲れさまでした!! 小杉さん・・・タ
ワーの組立やアンテナ全般の力
作業に・・・脱帽でしたあ・・・!! これ
はもう筋肉痛ですねーと尋ねると
⇒・・・直ぐには出ませんねーと
言っていましたねー・・・笑!!

みんなの力で次々にアンテナが完成して行きました・・・(^_^♪



足元に注意しながらの作業・・・大変でしたねー!!



若いメンバーも大活躍!! 頑張りましたねー。さすが、疲れ知らずですねー・・・笑!!



でも、小休止しないとなあ・・・(^_^)♪ 水分取って頑張っています!!



V型ダイポール・・・その下に50MHz帯の八木アンテナを設置。なかなか手ごわい作業でしたねー・・・お疲れ様でしたー!!



これでDXペディション運用
バッチリですねー・・・☆彡

この度は日本アマチュア無線振興協会:JARD25周年、誠におめでとうございます。またJARD25周年記念として開催された小笠原諸島・父島でのDXペディションの団員として選考していただき、ご一緒させていただけたことを心より感謝申し上げます。アマチュア無線という共通の趣味を持つ仲間との出会いも大変貴重なものとなりました。まさに生涯の思い出として心に刻まれた思い出です。この出会いを大切に、これからも生涯の趣味として益々多くの仲間との出会いがあることを願いながら長〜くアマチュア無線を楽しんでいきたいと思っております。この旅ではJARDのスタッフや関係者の方々、陰で支えて頂いた方々もたくさんいらしたと思います。また父島ではホテルやコテージの皆さまにも大変お世話になりました。参加された団員の皆さま。すべての方々に感謝申し上げます。皆さまのご健康をお祈り申し上げます。最後に、今回の旅に当たり全ての段取りや調整そして細微にわたりお世話頂いたJARDの菅谷様、本当におつかれさまでしたー・・・☆彡 重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。またお会いしましょう(^ ^)♪。



ありがとうございました!!・・・(^ ^)♪

JARD 25周年記念、小笠原DXペディション参加して

台風の影響で出発ギリギリ迄、JARD職員皆様は心配をしていらっしゃいましたが、何とか予定通り23日に出発と成り一安心。

到着後アンテナの設営、無線機の設置と順調に進み、団長の有坂会長によりまず開局式の後、参加メンバーによりJD1YBVの運用が始まりました。

普段のコンテストでも経験のないパイルすごい・・・YLだから？

参加メンバーも10代～70代と幅広い年代でしたが、無線を通じて色々なことが学べた良い機会でした。

特に高ア連の若い方が頑張り4000局を超えるQSOが出来ました。恐るべきJD1!!
せっかくの小笠原でしたが、お天気が悪く青い空、青い海を見ることができなく残念でした。

この度、この素晴らしい企画に参加させて頂きまして有難うございました。

このような機会が無かったら、生涯小笠原に行く事も無かったと思います。

JARDの更なる発展と、職員皆様の健康とご活躍をお祈りいたします。

小笠原DXペディション参加

JRφMAZ 柳 文枝

JARD 小笠原 DX ペディションに参加して

JF1DKB 高野成幸

「やっぱり、無線は楽しいな」、それを再認識させてくれた。無線といっても、人それぞれに楽しみ方に違いがある。

アンテナ、送受信機等の自作やキットの製作にはまる人、AM や SSB の音質を追及する人、移動運用で道の駅や山に登る人、マイクに向かってしゃべり続ける人、電鍵等の操作や PC 等を利用してデジタル通信を黙って運用する人、壊れた古い無線機を直して使いもせずダミーロードで事足りる人、DX、アワードに生涯をかける人、QSL カードが箱で届く人、外国の珍カントリーに行き行ってサービスする人、どんなきっかけで無線を始めたかも色々。

電話級の創設やスキーの映画のヒットで世界に例を見ないほどのアマチュア人口となり無線関連のメーカーが切磋琢磨し安くて高性能な製品を日本人は当たり前その恩恵を享受している。

携帯の普及で特に若者の新規参入が減っているという。携帯を持っているけど無線とは別物で比較できないと思う。私が中学生で免許を取った当時は、次から次へと仲間が増え、しかも年齢の幅は同世代から超ベテランの OM さんまで、いろいろなことを教えてもらったし、アンテナを建てると声をかけると 7-8 人くらい手伝いや見物に集まったものだったし、コンテストというとアンテナの設営から会場作りまで全員で作業した。

小笠原への参加は当時のことを思い出した。JARD の有坂会長さんの無線談義は聞いていてとても楽しかったし、JARL の玉眞専務の経歴には驚いた、それだけの方々に話をさせていただいて敷居の高さを全く感じない。企画した菅谷さんの綿密な準備もあってスムーズに事は運んだが、人選も良かったように思う。アンテナの設営も第一電波の小杉部長の参加であの敷地に短時間で設営も出来たし、運用に至っては中、高、大学生の精力的なパイル裁きと仲間のサポートが素晴らしかった。猛パイルでピックアップが難しいなかで慣れた高校、大学生が隣で付きっきりで対応。今の若者は良いですよ！高ア連の甲斐先生の CW はスキルも高いし長時間運用する集中力は、さすが。毎朝通勤の運転中に CW で 60 局程度 QSO するという強者ならでは。YL さんの運用も長時間お疲れ様でした。硬い男性より花が咲いたようなきれいな声でのサービスは良いものです。

今回は7本のANTの用意があったが設営の関係で同時に多バンドでの運用には制限があり、全員がフルで運用できず、有坂会長や玉眞専務は時間的な機会がなく、往年の銘オペレーションを見ることができなかったのは本当に残念だったし、ご本人たちも本音は歯がゆかったのではなかったでしょうか。誰よりも無線好きなのではないから！

JARDの職員の皆さんも、ほとんど運用せずに参加団員へのサポート本当にお疲れ様でした。

JARDさんのこの企画やHAMtteは、免許を取ったものの本当の楽しさを知らずにQRTしてしまうことが無いようにするには有効ではないかと思えます。会社でも新入社員研修や入社年次毎に研修が行われるように、世代を超え、立場も違う人が集合して一つのことに協力して準備して目的を達成する。そんな活動に関わっていきたいなとも思いました。免許取得の養成講習と並行して運用の楽しさを教える講習もアリかなとも思えます。

今度は有料でも参加しますかと聞かれましたが、参加したいです。

ただ、職員さんも日常の職務をしながらの対応は大変そうです。ボランティアの活用も、長い目でみると必要かなと思えますし、有坂会長さんもおっしゃっていたけど近くの山に登ってみんなで日本中を繋ぐって楽しそうです。あの小笠原の企画から今はこんなに無線の楽しみ方がさらに広がった、そんな将来を期待したいです。

まとまりがない無い文章ですみません。今回はこのような機会を与えていただいたこと、今回の企画に携わった方々や、アンテナや無線機を提供していただいたメーカーの皆様にお礼を申し上げます。企画担当の菅谷さん、お疲れ様でした。お世話になりました。

初めての小笠原、とても楽しい日々でした。

船での長旅は2回目なので、心配していませんでしたが、行きの船の中は大変でした。

「さすが大きい船だから、全然揺れないね」なんて話していたら、まだまだ東京湾の中だったのです。外洋に出てからは、地獄のような船旅になってしまいました。

しかし、いざ小笠原に上陸してみると、すこぶる元気になりました。

驚いた事は、車のナンバーが「品川」だった事。小笠原は、東京都なんですよ。

一瞬、小笠原という事を忘れてしまう感じでした。

お天気が残念だったので、青い海と青い空を見ることが出来なかったのが、残念でした。

無線運用は、2アマを取得して初めて200W機で運用をさせていただきました。

7MHzでの運用でしたが、出来たら14MHzで運用したかったなあ、と思いました。コンディションが悪くなく、交信出来ず残念でした。

たくさんの方が日本でワッチしていただき、帰ってきてからは、「繋がったよ」と言う方や「交信出来なかった」等々いろいろでしたが、初めて交信した方が多く、とても楽しかったです。

まだまだ不慣れなので、普段はHF交信をあまりしていませんが、小笠原から帰ってきた後の記念局の移動運用では、どうにか一人でコールサインも聞き取り、交信も出来ました。

小笠原では、海外の方とは繋がりませんが、記念局の移動運用では台湾の方とつながり、交信出来ました。少しずつですが、度胸がついてきたかな？

これからは、デジタルだけではなく、HFにもどんどんチャレンジしていきたいと思っています。

水田 かおり

「小笠原 DX ペディションを終えて」

JE6HIB 高橋篤生

このたび JARD によって主催されました、25 周年記念の小笠原 DX ペディションに参加し、私自身のこれまでのアマチュア無線を通じた経験の中でも非常に大きなものを得ることができました。以下、簡単ではありますが、私の感想を述べさせていただきます。

まず、私が得られた最大のもの、それは今回の小笠原 DX ペディションを共にした約 20 名のメンバー、本企画に尽力して下さった JARD 職員の方々、また 25 周年記念パーティーやその他イベントにて応援、アドバイスをいただいた皆さんといった非常に多くの方々との出会いです。本ペディションの一般参加メンバーに選出されてから、小笠原へ出発するまでの間にも、関ハムやハムフェアの会場において、たくさんの激励をいただき、私のような一個人であっても、ペディションの団員としての自覚を持ち、精一杯頑張ろうという思いを抱きました。アマチュア無線をこれまで楽しんできた中でも、このように周囲の方々の期待を背負って運用するという経験はなかなかないものでした。この期待に応えるためにも、小笠原でより良い運用をしたいという意識にもつながりました。小笠原へ向かう船内や、現地において、有坂会長をはじめとして長年アマチュア無線を楽しんで来られた大ベテランの方々に、アドバイスを聞かせていただいたことは大変ためになり、また時折まじる過去の面白いエピソードに笑ったことは忘れられません。世代を超えて、一つの趣味を楽しめるということのメリットを改めて感じました。

また、今回のペディションに参加していた中学生、高校生が無線を運用する姿を見て、私の無線に対する姿勢に刺激を受けました。私の開局は 2010 年ですが、最近は大学が忙しかったり、アパマンハムと





いう環境であったりするために、無線運用のアクティビティは開局当初よりはぐっと落ちていました。時々大学や地域クラブでコンテスト運用をする程度の無線との関わりでしたが、小笠原で JD1YBV の運用を非常に楽しそうにしている中高生の姿を見ていると、私自身の忘れかけていた無線へのモチベーションが再び高まってきました。彼らの交信できる

ことが楽しくて、暇さえあれば運用したいという姿は、私が高校生の時に開局した時のことを思い出させ、交信できるのが当たり前と考えるようになっていた自分に気づかされました。無線に対する意欲、探究心、また技術向上に対するチャレンジ精神などは、見習わねばと思ったほどです。



最後に、私が他のメンバーに与えることができた影響について記したいと思います。私は小笠原から JD1YBV を主に日没後から運用して海外局を相手に SSB で交信していましたが、その様子は中高生メンバーにとってはとても目新しいものであったということに気づきました。彼らは普段学校から運用している際には、国内コンテストが中心で海外局と交信したことがなか



ったのです。私自身は、海外と交信したいという思いをもって無線を始めましたが、その時と同じような気持ちを彼らにも感じてもらえたのではないのでしょうか。自分が出した電波が遠く世界中まで飛んでいるのだという実感、電波で交信できることの不思議さ、そして魅力を DX との交信を通じて知り、無線のまたとない面白い世界に踏み入ってくれることと思います。私は今回彼らを DX の世界の入り口に案内できたことを、非常に光栄に感じています。

小笠原での思い出、エピソードはこの程度では書ききれものではありませんが、このような大変素晴らしい機会をくださった JARD 職員の方々、また各方面で多大な支援をくださった方々に感謝をしつつ、筆を置かせていただきます。

小笠原ペデイ紀行

JARD 創立25周年特別局 (JD1YBV) 運用に参加して

渡瀬隆典 (JE1UFF)

序

昨年夏に JARD が2アマの養成講座を実施することを知り、一念発起で申し込みをしました。7月度は申し込み多数ではずれ、10月期に参加しました。当初は内容が難しく、覚えることも多く、年を越すまで全く調子上がりませんでした。今年になり、既に合格者が出始めたとのニュースで、馬力をかけ始め、2月に何とか終了しました。最後の試験はちょっと不安でしたが、何とか無事に合格しました。受講中に知ったサイトで、問題解決のコツを教えてもらい、欲張って4月期の1アマの受験を決意、1か月少々は生まれて初めてという位の猛勉強をした結果、奇跡的に1アマ合格となりました。免許の更新をしているさなか、JARD から25周年記念の小笠原ペデイを行うが、参加しないかという募集があり、まあ、取り敢えず申し込んでみるかという軽い気持ちで応募したところ、参加させて貰えることになりました。多分、70歳という年齢による特別枠だったのでしょう。

出発

出発の日が近づいてくると、段々気持ちが昂ぶって来るとともに、不安にもなってきました。折しも台風が近づいてくるという情報です。ただでさえ船に弱いのに大波になったらどうしようかと、本当に心配しました。

当日、何とか天気も落ち着いており、竹芝埠頭にはメンバーが続々と集まってきました。

JARD の坂本専務理事の見送りを受け、真新しい小笠原丸で出港しました。

東京湾を出ると、流石に少し波が高くなってきましたが、思ったほどには揺れません。

船中でのミーティング、自己紹介、食事と時間が経つとともに仲間意識が芽生えてきました。24時間の船旅は思っていた以上に快適でした。でも、数名の方は船酔いでグロッキーになっていましたが・・・。

到着

いよいよ小笠原に到着、宿舎に立ち寄りすぐに運用拠点へ。みんなで協力して荷物の開梱、アンテナ、リグの設営に取り掛かりました。

専門家の方の指導の下、メーカーさんが用意してくれたアンテナ群を皆で協力して設営しました。平らな場所が少なく、支柱等もなかなか条件の悪い場所でしたが、数時間ですべて完成させました。ものすごい湿気の中で、みなさん汗だくです。

開局

すべての準備ができ、いよいよ開局式です。有坂 JARD 会長 (JA1HQQ) による第一声が 7 MHz で発せられ、運用開始となりました。

初日は、この後宿舎に戻って食事、入浴等、リラックスタイムを楽しみました。

運用

8月25日、いよいよ本格的な運用がはじまりました。10W機、50W機、200W機をそれぞれ、4アマ、3アマ、2アマ、1アマの人が交代で、7MHz、14MHz、18MHzで交信を開始、バンド、モードによって相互干渉が起こるのを、協力しあいながらの運用になりました。レディーファーストで、水戸コミュニティー放送の水田さん (JI1BTL) 仲間と繋がったようです。JLRS の代表 柳さん (JR0MAZ) 流石ベテランの流れるような運用で、JLRS の皆さんにサービスできたようです。高ア連代表の柴田さん、JARD 事務局の森さんも、かわいい声を出していました。森さんの、“次の方どーぞ” には、部屋の中には爆笑が……。病院じゃないよ、の声も。高ア連の高校三人組も、SSB に、CW に快調に運用を楽しんでいました。クラスターに載ったのか、すぐにパイルアップになりました。“こんなパイル初めてだよ！” と言いながらも、高校生諸君は楽しそうでした。

いよいよ、私も運用に参加しました。7MHz SSB で開始。1エリアの局から呼ばれ、無事に JD1 をサービスできました。およそ30分の間に、1から0までのすべてのエリアの局と繋がることができました。

この日の午後は、Cグループは島内観光で、車で回れる近場の観光スポットを案内してもらいました。山の上にある大きな電波望遠鏡はすぐ近くから見ることができ、圧巻でした。

(本土では考えられないほどの無防備状態、敷地の中まで入れるし、望遠鏡も触れるほどの近さまでいけます。やはり小笠原は別エンテイテイーだなど、変に納得！)

夜の9:00から再度運用にトライ。今度は14MHz SSB です。

3, 4, 5のエリアから呼ばれた後、エストニア、イタリア、ヨーロッパロシア、ポーランドなど、ヨーロッパからの呼び出しが増えてきた。必死で聞くが大変厳しい状況。

国内は各エリア万遍なく聞こえてくる。大分パイルが強くなってきて、ログに書くのが大変に！時々ふわっとヨーロッパが強くなる時間がある。

1時間ちょっとの運用で、122局のお相手をさせてもらった。(DX16局を含む)

残りの時間は、JARD の北井さん (JA3IVU) の JT65 の運用を見させていただいた。

高野さん (JF1DKB) も興味津々で、SSB では無理な電波状態の中で、使えない10W機を独占している JT65 の運用に見入った。

実は、これ以前から、JT65 の運用に非常に興味を持っていて、免許状はすでに運用できるように更新変更してあるので、すぐにでもやってみたかったが、わからないことも多々あ

り、今回は研修期間。

夜中に一旦宿舎に引き上げたが、高ア連の甲斐先生 (JM6CIP) は、ここからが本番とばかり、徹夜で CW を運用し、1000局以上に JD1 をサービスしました。すごい！！

運用2日目

この日も、朝から交代でみんなて運用、書上さん (JR1QVM)、片岩さん (JR2XYW) も各人1局以上というノルマは達成、若者たちは早く自分の番が来ないかと、ワイワイさわいでいる。ベテランの高橋さん (JE6HIB) が、若者たちの指導をしつつ、軽快なピッチで14MHzをこなしている。中間集計で、全体では、ゆうに2,000局を超えている様子。和気藹々として、みなさんが交信を楽しんでいました。

私も再度14MHzにて運用、ちょうどヨーロッパが開けてきたところです。ロシア、ドイツ、イタリア、フランス、イングランド、フィンランド、ポーランド、ウクライナ、クロアチア、などすごい勢いで呼んでくる。20分ほどで上手な人に交代。1時間後、もう一度挑戦。呼んでくるのはすべてヨーロッパ、あまりのパイルにさばききれず、10数局やったところで、高橋さんに交代、スプリットにしてこなしてもらった。

やはり、JD1 はかなり珍局のようで、すごい反響でした。今回のペディションはとても貴重な体験をすることができました。

あとは、JT65 の運用をしばらく高野さんと一緒に見ていました。10WでDXとできるのはすごい魅力です。アパマンハムの私には、救世主となるモードかも・・・。

雑談

運用場所から宿舎に帰るのに、最後の一人になってしまったため、徒歩で帰ることにしましたが、道を間違えて、迷ってとんでもないほうに行ってしまいました。全く街灯も何もなくて、懐中電灯を消してみると、頭上には今まで見たことのない凄い星空が広がっていました。生まれて初めてみる、満天の星に、しばらく見とれてしまい、汗びっしょりになって疲れたのも忘れさせる素晴らしい体験でした。これだけでも、今回小笠原に来た甲斐がありました。

撤収

あっという間に2日間の運用が終わり、撤収作業が始まりました。みなさん分担して、アンテナやリグを梱包していきました。設営の時は大変でしたが、片付けは手際よく短時間で終了しました。運用場所から離れるときには、是非もう一度きたいな、と強く思いました。

帰り

いよいよ帰る時が来てしまいました。みなさん、各々お土産を買ったり、写真を撮ったり思い出を作って、乗船。小笠原名物の威勢の良い太鼓と踊りに見送られて、出港です。お世話になった宿舎の方たちも見送ってくれています。船が動き出すと、港の小さな船が一斉に見送りに港の外までついてきてくれました。最後は、その船の上から海に飛び込んで、お別れのあいさつです。とても感動的でした。

台風の接近で、帰りの便が出るのか心配させられましたが、無事出発しやれやれという感じでした。少し波は高いのですが、最新の船はあまり揺れを感じさせません。船内で食事と反省会を行い、すべての行事を終了、あとは東京に戻るだけです。ほんの短時間ですが、船上からもあの凄い星空を見ることができました。10時にデッキが出入り禁止になったのは残念でした。今回、良いカメラを持参しなかったのが非常に悔やまれます。

最後に

今回、JARD 主催のこのペディションに参加することができて、大変素晴らしい、得難い経験をさせて頂いて、本当に幸運でした。

元はと言えば、JARD の講習会に参加したことでした。おかげで、2アマのみならず、1アマを取得でき、今回のペデイ参加がかない、本当に感謝感謝です。

事務局の菅谷さん、谷鹿さん、大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。